

第 35 回（2025 年）全国花のまちづくりコンクール 受賞者決定 ～花の社会性がまちをつくる～

花のまちづくりコンクール推進協議会（会長 大橋徹二）は、第 35 回（2025 年）全国花のまちづくりコンクールの各賞受賞者を、全国応募総数 924 件の中より決定しました。

【コンクール概要】

全国花のまちづくりコンクール（提唱：農林水産省及び国土交通省、主催：花のまちづくりコンクール推進協議会）は、1990 年に開催された国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」を継承し、花のまちづくりの発展及び花の社会性の向上を目的に、1991 年より全国各地の優れた花のまちづくり活動を表彰しています。

【対象】

全国の「市町村」「団体」「学校」「個人」「企業」

【特徴「花の社会性」】

花は、人と人、人と社会をつなぐツールです。花が地域社会に及ぼすプラスの影響を「花の社会性」と呼んでいます。花のまちづくりは、地域の環境づくりやコミュニティづくり、人づくりに資する「花の社会性」をまちづくりに活かす活動です。

【花のまちづくりコンクール推進協議会 構成団体】

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

公益財団法人都市緑化機構

全国花みどり協会

公益財団法人日本花の会

【受賞者】

別紙の通り。表彰式及び受賞者交流会は、10 月 30 日（木）に法曹会館（東京都千代田区）で開催予定です。

【お問い合わせ先】コンクール事務局：公益財団法人日本花の会（小山・武藤）

〒105-8316 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 9 階

TEL：03-6849-9821 FAX：03-6849-9822

<https://www.hananokai.or.jp/city/city-winning/>



第35回（2025年）全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧

応募者数 924 件

（市町村部門 6 ）（団体部門 604 ）（学校部門 201 ）（個人部門 72 ）（企業部門 41 ）

大賞 【5件】

大賞 農林水産大臣賞	団体部門	浦戸諸島「海と花の物語」	宮城県塩竈市
	個人部門	佐々木 裕哲	和歌山県有田川町
大賞 国土交通大臣賞	市町村部門	射水市	富山県射水市
	団体部門	名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市
大賞 文部科学大臣賞	学校部門	伊奈町立小針北小学校	埼玉県伊奈町

優秀賞 【11件】

優秀賞	団体部門	花のまち 花くらぶ	北海道東神楽町
		まちづくり宮ノ下地区委員会	福井県福井市
		新川姫蛍と花を守る会	大阪府高槻市
		あさごなでしこの会	兵庫県朝来市
		しょうばら花会議	広島県庄原市
		特定非営利活動法人はかた夢松原の会	福岡県福岡市
	学校部門	恵庭市立恵み野中学校	北海道恵庭市
		群馬県立富岡実業高等学校 草花部	群馬県富岡市
	個人部門	奥川 きみ子	兵庫県西宮市
		角所 誠司・いずみ	兵庫県南あわじ市
	企業部門	武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園	京都府京都市

奨励賞 【6件】

奨励賞	団体部門	水戸イングリッシュガーデンクラブ	茨城県水戸市
		みつばちガーデンズ&静岡市役所園藝部	静岡県静岡市
		小川お花畑ぐるーぷ	和歌山県古座川町
	学校部門	玉川村立須釜小学校	福島県玉川村
		和歌山県立和歌山高等学校	和歌山県和歌山市
	企業部門	有限会社豆蔵	愛知県岡崎市

入選 【５７件】

入選

市町村部門

孺恋村

群馬県孺恋村

団体部門

しらかわバラの会

福島県白河市

プリンセスローズクラブ

栃木県那須塩原市

上堀駅を愛する会

富山県富山市

高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会

富山県高岡市

市井自治会

富山県射水市

花と緑の銀行上市支店

富山県上市町

東藤島おもてなし花壇

福井県福井市

美山を美しくする会

福井県福井市

天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト

静岡県浜松市

みくりや花と緑の会

静岡県磐田市

関田西高砂会・関田東高砂会

愛知県春日井市

特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク

愛知県田原市

堀切地区ボランティアの会

愛知県田原市

菰野町水土里の郷の会

三重県菰野町

コットン平野

大阪府大阪市

さつき福祉会 さつき障害者作業所

大阪府吹田市

シーマークス・タテニワ倶楽部

兵庫県神戸市

ガーデンファイブ

兵庫県伊丹市

伊丹市フラワーリーダー同好会8期生

兵庫県伊丹市

サポーターズガーデン

兵庫県伊丹市

鶉野中町花家族の会

兵庫県加西市

花てまりの会

和歌山県那智勝浦町

横川第二公園園芸クラブ

広島県広島市

ふれあいガーデン「くすな」

広島県広島市

北九州市立小嶺児童館

福岡県北九州市

金田第一町内会

福岡県北九州市

花畑3丁目I区町内会スマイルガーデン

福岡県福岡市

黒肥地10区 みんなの花壇

熊本県多良木町

学校部門

宮城県加美農業高等学校

宮城県色麻町

喜多方市立上三宮小学校

福島県喜多方市

五霞町立五霞中学校

茨城県五霞町

館林市立第九小学校

群馬県館林市

長岡市立桂小学校

新潟県長岡市

高岡市立成美小学校

富山県高岡市

三島市立東小学校

静岡県三島市

富士市立富士南小学校

静岡県富士市

	学校部門	菊川市立小笠北小学校	静岡県菊川市
		松崎町立松崎中学校	静岡県松崎町
		静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校	静岡県松崎町
		尼崎市立上坂部小学校	兵庫県尼崎市
		明石市立清水幼稚園	兵庫県明石市
		学校法人野間幼稚園	兵庫県伊丹市
		みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町
		認定こども園 高見の森保育園	福岡県北九州市
	個人部門	清水 貴久子	栃木県那須塩原市
		松本 茂治	群馬県館林市
		滝澤 善隆・市子	長野県松本市
		服部 啓子	愛知県大府市
		房谷 弘之	兵庫県姫路市
		尾花 幸雄	兵庫県加西市
		寺尾 康男・桂子	兵庫県朝来市
		松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市
		苅尾 安正・希美子	兵庫県たつの市
	企業部門	有限会社風のみどり塾	東京都港区
		株式会社金沢村田製作所	石川県白山市
		タニザワフーズ株式会社	愛知県岡崎市

特別賞 【9件】			
当コンクールにおいて入賞回数が規定回数に達した継続的な活動を特別に称えます			
(プラチナ賞 入賞回数15回) (ゴールド賞 入賞回数10回) (シルバー賞 入賞回数5回)			
特別賞 プラチナ賞	団体部門	鶴野中町花家族の会	兵庫県加西市
特別賞 ゴールド賞	団体部門	名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市
	個人部門	奥川 きみ子	兵庫県西宮市
特別賞 シルバー賞	団体部門	さつき福祉会 さつき障害者作業所	大阪府吹田市
		新川姫蛭と花を守る会	大阪府高槻市
		横川第二公園園芸クラブ	広島県広島市
	個人部門	松本 茂治	群馬県館林市
		房谷 弘之	兵庫県姫路市
		佐々木 裕哲	和歌山県有田川町

以上

第 35 回（2025 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 農林水産大臣賞

【団体部門】浦戸諸島「海と花の物語」（宮城県塩竈市）

浦戸諸島「海と花の物語」は、2011 年の東日本大震災後、全国から励ましの気持ちと共に花々の球根が届き、その花々で癒しと活力が育まれた体験のもとに結成された団体です。島民が減少した桂島を拠点に、島外のメンバーが島民と協力して花による景観づくりを進め、現在は約 1,000 m²の敷地に約 1 万本の花々が美しいフォトスポットと共に訪れる人を楽しませています。活動者はメンバーのほか、大学生や国内外の来訪者など年間約 200 名にも広がり、創造性豊かな楽しい活動が展開されています。会の運営も、予定表の配布、ブログでの活動報告、総会を開催し報告・計画・予算を審議するなど、民主的になされており、人口減少地域での地域振興モデルとして、大変高く評価されました。



大賞 農林水産大臣賞

【個人部門】佐々木 裕哲（和歌山県有田川町）

佐々木 裕哲氏は、1999 年に自邸でアジサイの植栽を始め、2003 年からオープンガーデン「あじさいの“恵紫園”」を通年開園しています。各種媒体で、関西あじさい名所 11 選の一つとして紹介されるなど、同園は地域の観光資源として年々多くの人が訪れるようになり、昨年は 4,000 人以上の来訪者がありました。アジサイは、日本の在来種や園芸種など 320 種、1,200 株を鉢や地植えで育てており、アジサイの盆栽仕立て、土壌の違いによる発色の様子など、技術を伝える交流も積極的にされています。佐々木氏との交流を通じて、地域では花壇づくりやオープンガーデンが広がるなど、その長年にわたる活動は花による地域の観光振興として、大変高く評価されました。



第 35 回（2025 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 国土交通大臣賞

【市町村部門】射水市（富山県射水市）

射水市は、富山県が花と緑の県づくりを進める推進母体として 1973 年に設立した「（公財）花と緑の銀行」の 15 支店の一つです。2005 年に 5 市町村が合併し、現在の「射水支店（イコール射水市）」となりました。旧市町村の枠を越えた一体感を醸成する手段の一つとして、花のまちづくりに取り組んでいます。緑の基本計画の策定、花壇コンクールや市民の集いの主催、「地方銀行（市内小学校旧校下単位）」への花苗配布、活動費補助など、各種の支援を行っています。最大の特長は、長年にわたる「花と緑の銀行」のフレームを活かした、射水市の継続的で意欲的な物心両面の支援です。これらの支援が、各地域でポテンシャルの高い人材の育成と活動の継続に繋がっていることが、大変高く評価されました。



大賞 国土交通大臣賞

【団体部門】名塩さくら台景観緑化クラブ（兵庫県西宮市）

名塩さくら台景観緑化クラブは、居住する分譲住宅地の空き地や不法投棄が目立つ状況を憂いた住民有志が、2014 年に「まちを美しく元気にしたい」との想いで立ち上げた団体です。遊歩道などを花木で美しい景観にするための計画は、綿密に練りあげられ、行政事業として採択実施されました。その後も栽培管理と景観向上に努め、新たな計画を着実に実現しています。現在、活動地は 2,170 m²にわたり、周囲の自然林に馴染む木々や花木、宿根草等による植栽が、ローコスト・ローメンテナンスで美しく維持されています。景観に惹かれ居を構える方が増え、住民が朗らかに散策する姿も見られます。将来を見据えた計画を基に、理想像を着実に歩む同会の取り組みすべてが、大変高く評価されました。



第 35 回（2025 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 文部科学大臣賞

【学校部門】伊奈町立小針北小学校（埼玉県伊奈町）

伊奈町立小針北小学校は、バラのまちで知られる伊奈町にあり、児童が地域資源を活かして課題と解決策を考える学習活動として、2023 年から 6 年生 130 人を中心に「バラ栽培プロジェクト」に取り組んでいます。自然循環を取り入れた土づくりをはじめ、各自が担当するバラを決め名前も付けて、慈しみながら 120 株以上を育てています。地域の方も訪れる同校のバラ祭りでは、活動紹介のほか、児童が制作したバラを用いたハーバリウムの販売なども行っています。収益は活動資金に充てられ、活動は 6 年生から 5 年生に引き継ぎ式を通じて引き継がれます。バラを核としたこの学習活動は、今までに例を見ない社会に開かれた画期的な活動として、大変高く評価されました。

